

「天気」における「創立125周年記念事業」について

「天気」編集委員会では、2007年に学会創立125周年を迎えるに当たり、2つの記念事業を行なうことになりました。

1つは、本号から連載を始める記念解説です。1982年の学会創立100周年に当たっては、気象学の諸分野に関する充実した記念解説が「天気」に連載され、また気象集誌特別号には国際的に著名な研究者の方々の優れたレビューが掲載されました。今回も、気象集誌では、国際的に活躍されている内外の研究者による最先端のレビューからなる特別号を計画しています。そこで、今回の「天気」記念解説では、前回の解説以降に大きな進展がみられたトピックを編集委員会で48テーマ選定し、そのトピックに関わる最近20年程度の進展や現状について専門の研究者だけでなく一般会員の方にも理解できるようなわかりやすい解説を毎月4編ずつ掲載することになりました。

各解説は原則として刷り上り4ページとしました。ページ数が限られていることから、参考文献を網羅的にあげた無味乾燥な内容となることは避け、著者の主観で重要あるいは興味深いと思われる3～4個の課題を選んでいただき、ある程度読み物としても楽しめる内容にさせていただくようお願いしました。どうぞご期待下さい。なお、ページ数の制限のため、参考文献

の引用や英文表題のスタイルは通常の解説とは変えてある点を、ご了承いただきたいと思います。

もう1つの事業は、創刊号から現在に到るまでの「天気」記事のpdfファイル化とそのインターネットによる公開です。過去の「天気」には現在でも通用する優れた解説や、歴史的な事業、顕著現象の事例解析の論文など数多くの興味深い記事が掲載されています。これらの記事が、インターネットを通していつでもどこでも読めるようになります。また、簡単な検索機能も付加する予定です。現在pdfファイル化の作業はほぼ完了し、今後編集委員会の中でpdfファイルの内容確認や検証試験を経て、2007年4月1日から広く公開する予定です。本事業を通じて、気象学会が蓄積してきた貴重な学術資料が、多くの会員の皆様に従来にもまして有効に活用されることを期待しております。

なお、記念解説の編集は、榎本 剛、上口賢治、小出 寛、佐藤晋介、関山 剛、田口晶彦、中島健介、中村 尚、新野 宏、藤部文昭、堀之内 武、水野量の各委員を、「天気」pdf化事業は、青柳曉典、勝山健一、別所康太郎、林 修吾、里村雄彦、新野 宏の各委員を中心として編集委員会で行ないました。